

令和7年度 事務事業マネジメントシート		段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					6541 幼児歯科保健事業					こども部	こども家庭課
1 事業概要		中事業番号		617								所属コード	222500
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X 推進	手段	意図（目的）	
大綱（取組）	Ⅲ「学び育む子どもたちの未来」	3.2		3-2			○				乳幼児期のむし歯予防及び歯科保健に関する指導を行う	むし歯予防のための正しい知識の普及啓発が図られる	
施策	1 人と人とがつながり、みんなで子どもたちを育むまち												

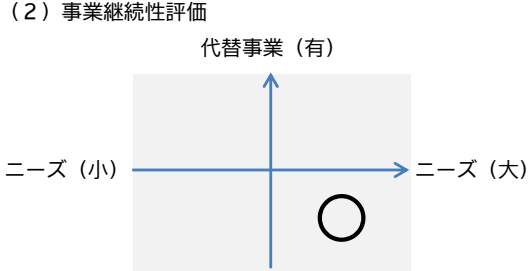
事業開始時周辺環境（背景）	現状周辺環境	今後周辺環境（予測）	住民意向分析
本市は、平成24年度の1歳6か月児健診及び3歳児健診ともに41中核市の中でむし歯有病者率が高くワースト1位であり、早急にむし歯予防に向けた取り組みが必要である	本市のむし歯有病率は減少傾向を示している。令和5年度中核市平均むし歯有病率は1歳6か月児で0.63％、3歳児健診では8.20％と令和5年度の中核市平均値より1歳6か月児健診は低くなっており、3歳児健診も中核市平均値へ近づき各事業の取り組みの成果が見られた。	幼児期のむし歯有病率は1歳6か月健診、3歳児健診ともに減少しているが、3歳児健診でむし歯のある児は多数むし歯を持つ者が多い。3歳児健診でのむし歯の減少に向けて、今後は1歳6か月健診時などでリスクの高い児に対して歯科受診や定期健診につなげる指導、周知を行う。	1歳6か月児健診でフッ化物塗布を行った児は令和年6年度は89.0％であった、1歳6か月健診以前に歯科医院で定期的なフッ化物塗布を実施している児が増えているため昨年度の89.4％から塗布率は下がっている。 事業を通した周知、啓発により市民の歯科への意識が高まり、早期に歯科受診をしている児が増えたと考えられる。

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	中間指標 2021年度	最終指標 2025年度
対象指標	健診対象人数（1歳6か月児・3歳児）	人		4,729		4,648		4,077								
活動指標①	1歳6か月児健診受診者数	人	2,400	2,309	2,300	2,221	2,200	1,821	2,100		2,100		2,100	2,100		
活動指標②	3歳児健診受診者数	人	2,500	2,375	2,400	2,322	2,300	2,251	2,200		2,200		2,200	2,200		
活動指標③	1歳6か月児歯科健診後のハイリスク児数	人	992	1,165	1,035	1,033	1,150	876	977		977		977	977		
成果指標①	1歳6か月児健診むし歯有病者率（計画値：中核市平均）	％	1.23	1.08	1.00	1.22	0.83	0.49	0.75		0.75		0.75	0.75	-	-
成果指標②	3歳児健診むし歯有病者率（計画値：中核市平均）	％	14.06	11.5	12.71	10.08	11.29	8.62	9.31		9.31		9.31	9.31	-	-
成果指標③	1.6、3歳児健診・幼児虫歯予防事業、1.6のフッ化物塗布、保育所巡回指導参加者計	人	9,316	8,396	9,000	8,011	8,000	7,330	7,751		7,751		7,751	7,751	9,316	7,751
単位コスト（総コストから算出）	1.6、3歳児健診・幼児虫歯予防事業、1.6のフッ化物塗布、保育所巡回指導参加者1人あたりのコスト	千円		0.8		0.8		1.2	0.7		0.7		0.7	0.7		
単位コスト（所要一般財源から算出）	1.6、3歳児健診・幼児虫歯予防事業、1.6のフッ化物塗布、保育所巡回指導参加者1人あたりのコスト	千円		0.4		0.8		1.2	0.7		0.7		0.7	0.7		
事業費		千円		5,528		5,272		4,421	4,425		4,704		4,704	4,704		
人件費		千円		771		774		4,329	774		774		774	774		
歳出計（総事業費）		千円		6,299		6,046		8,750	5,199		5,478		5,478	5,478		
国・県支出金		千円		2,763					0		0		0			
市債		千円														
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円														
その他		千円														
一般財源等		千円		3,536		6,046		8,750	5,199		5,478		5,478	5,478		
歳入計		千円		6,299		6,046		8,750	5,199		5,478		5,478	5,478		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続						

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費（事業費・人件費）分析結果
令和6年度の1歳6か月健診ハイリスク児数は計画値を下回っている、生活面においては望ましい行動をとる者の割合が特に1歳6か月児で増加しており、各事業の働きかけの成果が見られた。3歳児健診においても甘味飲食物の摂取状況は昨年度より減少しており、かかりつけ歯科医を持つ者の割合も増加している。	令和5年度の1歳6か月健診のむし歯有病率から0.73ポイント減少し、3歳児健診のむし歯有病率は令和5年度より1.46ポイント減少したため成果指標①、②共に計画値を下回った。受診者数の減少にともない成果指標③は計画値を下回ったが、各事業を通してフッ化物入り歯磨剤の周知や定期健診の推進などの取り組みの成果が見られた。	【事業費】 受診者数の減少により事業費は減少した。 【人件費】 職員の育児休暇からの復帰による。対象者減少傾向にある中で、各事業を効果的に実施するため、指導内容の見直しを行なった。

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		4
2 公平性		3
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4



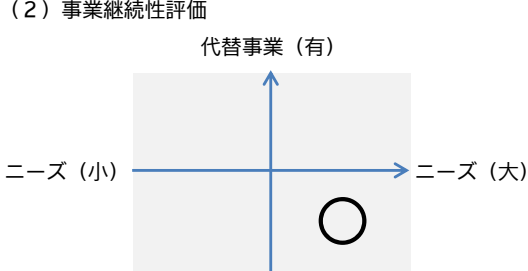
継続	一次評価コメント
継続	幼児期のむし歯予防のためフッ化物塗布の実施、集団に属する保育所で巡回指導し幼児に対し歯磨き指導を行うことで、むし歯予防に関する啓発と知識の向上に努めることができる。そのことが3歳児健診でのむし歯有病率の減少に寄与していると考える。幼児期の歯を守ること、歯みがき習慣を定着させることは、学童期以降の歯を守ることにもつながるため継続して実施する必要がある。

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）

気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏
		○

4 二次評価

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		4
2 公平性		3
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4



継続	二次評価コメント
継続	令和6年度の1歳6か月児健診のむし歯有病率は0.49％、3歳児健診は8.62％と計画値を下回り、成果が確認された。過去と比較してむし歯有病率は着実に減少している。また、フッ化物入り歯磨剤の周知や定期健診推進などを通じて市民の歯科意識向上に取り組んでおり、必要に応じて指導内容も適切に見直しを行っている。 本事業は幼児期のむし歯予防を目的とし、学童期以降の歯の健康を支える重要な基盤となるため、今後も継続して事業を実施する。

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画